



さあ、夏を満喫！



校長 芝原 にほ

待ちに待った夏休みがやってきました。2学級になり職員の数が減って、不安だらけのスタートでしたが、大きな事故がなく、無事、1学期を終えられたことを心からうれしく思います。これも、保護者のみなさん、そして、地域の皆様の温かい励ましのおかげです。ありがとうございます。校内には、保護者のみなさんにも短冊を書いてもらった七夕飾りが揺れています。願いが叶うといいですね。

さて、44日間という例年より少し長い夏休みが始まりました。みなさん、「夏の思い出」と言ったら、どんなことが思い浮かぶでしょうか。家族旅行？海水浴？花火大会？さまざまだと思いますが、わたしは、「小学生の頃の夏休みってどんなだったっけ？」と考えると、まず、ラジオ体操を思い出します。ラジオ体操カードに育成会の方が押してくれるスタンプがたまっていくのが、とてもうれしかった、ラジオ体操の歌を大きな声で歌っていたなあなど、その頃の光景が浮かびます。わたしの子供会では、中学生も一緒に、中学生はラジオ体操の後、集落内をランニングしていました。ランニングに出かけるお兄ちゃんお姉ちゃんを「かっこいいなあ」と憧れの気持ちで見送っていたのを思い出します。(運動嫌いのわたしの兄は走るのは苦痛だったようですが、いいコミュニケーションの場だったと言っていました。)何気ない日常こそ、大切なのかもしれません。

夏休み前に開催された「南界校区水難事故防止対策連絡会」の中で「パトロールしても、子供を見ることがないよなあ。」との声がありました。気候変動の影響で熱中症リスクが高まったことや新型コロナウイルス感染症対策等で、子供の夏の過ごし方は昔と比べると大きく変わったように思います。けれども、夏休みが子供にとってかけがえのない時間であることは変わりません。特別でなくていい、充実した毎日を過ごして欲しいと思います。そのためには、規則正しい生活を送ることが大切です。起床就寝の時刻、日中のタイムテーブル、メディアとの付き合い方など各家庭でしっかりと話し合って欲しいと思います。昔のように、外を駆け回って遊ぶことが減ってしまった今の子どもたちには、意識的に体力づくりの計画も立てる必要があります。わたしのお薦めは、もちろん「家族揃ってラジオ体操」です。朝の爽やかな空気の中、親子で身体を動かしてみませんか。

健康的で安全な楽しい夏休みをお過ごしください。



【転入職員紹介】

学校主事



この度、母の母校である南界小学校で働けることになり、とてもうれしいです。一生懸命がんばります。保護者のみなさん、地域の方々、いろいろと教えてください。よろしく願います。(お母さんは、本校の二宮金次郎像を作った山口貞清氏の姪っ子さんです。)

サンライフ通信

先月、借家情報と留学制度に関するチラシを校区の皆様に配布しました。早速、情報を寄せてくださった方、ありがとうございます。少しずつ前進中です。また、南界校区では、地域の宝「古市家住宅」を活用した「古市家塾」を再開します。町内の協力者を得て、8月10日第1回を実施します。興味のある方は、ブログ(上部タイトル欄のQRコード)をご覧ください。